



Y's Men International

Japan East Region 2021-2022 理事通信

主題 “Think for the next generation.” 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
スローガン “We are stronger together than we are alone.” 「絆を深める時」

理事メッセージ

2021年-2022年東日本区理事
大久保知宏（宇都宮）



新年、あけましておめでとうございます。みなさま、どのようなお正月をお過ごしになったでしょうか？私は12月29日から会社は休みに入りましたが、ワイズ活動も同時にお休みさせていただいて30日から恒例となったお節造りを始めて、家庭サービスに集中いたしました。今回のお節料理からアジア太平洋地域の100周年記念事業のFood Storyに応募したいと考えています。Food Storyについての詳細は本号にも添付して



ますので、奮ってご応募ください。皆さんから日本の食文化を世界に発信いたしましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染者数は年末から年始にかけてジワリと増えてきています。オミクロン株の市中感染も複数の地域で確認されてきて予断を許さない状況が続いています。クラブ運営では引き続きクラブメンバーの健康を一番に考えた運営をお願いいたします。私たちは9月から12月の三か月間に会員増強100日キャンペーンを行いました。その成果物として新規入会が今月から増えてくることを期待したいものの、再び例会のリアル開催が難しい状況の中で、どのように入会に結び付けていくのかを各クラブでお考えいただきたいと思います。

1月は国際選挙の月です。昨年からは郵便投票ではなく、インターネットを使用した投票となっています。今号では、国際選挙の投票について詳述していますので、投票権利を持っているクラブの会長もしくは代行者の方は、期日（1月29日午前1時）までに**必ず**投票を行ってください。

本年がクラブメンバーお一人お一人にとって、実り多い年となり、充実した社会奉仕の年となることを祈念いたします。



写真は宇都宮市田川鎌倉橋で撮影した初日の出です。

強調月間「東日本区ワイズ基金(JEF)」

東日本区ワイズ基金委員会委員長
原俊彦(富士五湖)



一月は「東日本区ワイズ基金の強調月間」です。

ワイズ基金とは何か?・・・もちろん皆さんはこの基金の趣旨と目的については良くご存知の事と思いますが、強調月間に当たり改めてその趣旨と成り立ちに付いてご説明をさせていただきます。

「JEF」は「Japan East Y's Men's Fund」の略で、「東日本区ワイズ基金」の事を指し、ワイズ運動の継続的な維持と事業の発展のために、個人・クラブに記念すべき出来事や行事、慶弔があった時、感謝の気持ちを表す皆様からの献金で成り立っています。具体的には、クラブのチャーター、周年記念、IBC、DBC 締結記念、役職就退任感謝、誕生・結婚記念日・お子さん、お孫さんの各種記念行事・快気祝い・還暦、喜寿感謝・・・などどんな時にも皆様の気持ちを表す機会と捉え、献金をお願いしています。この「東日本クワイズ基金」の歴史は、第 51 回熱海国際大会(1975 年)にまで遡ることが出来ます。この大会開催に向けて会員が積み立てた拠出金と国際からの還付金を基本とした「アタミ基金(のちにワイズ基金と改称・・・)」が起源となります。1997 年 7 月 1 日に日本区が東と西に分かれたのを機に同基金は、東・西に分割譲与され、これが「東日本区ワイズ基金」のスタートとなったのです。そして集めた基金の使い道ですが、区および部の組織強化の支援、国際交流活動の支援、YMCA の支援などが基本となります。これまでの具体的な事例としては、国際大会で使用する通訳機の購入や PW アレキサンダー資産への献金、YMCA 東山荘 100 年事業への協力・支援などですが、直近の事例としては「2022 年をゴールとする中期会員増強運動の SNS 支援」などがあります。また、この基金は「東日本区ワイズ基金運営委員会」が理事の監督の下で、区会計と密接に連携し、管理、保全を行います。その運用に付いてはすべて区役員会

の議決を経て東日本区理事からの申請に基づいて実施に移されます。献金が確認されますと事務所に「奉仕帳」が用意されていて、寄付者名とその理由が記載され、永久保存されるとともに区報にも掲載されます。この基金は各種の記念行事に拘らず、随時ワイズダム発展のための献金も受け付けていますので、今月の強化月間に因んで JEF 献金にご協力頂ければ幸いです。

強調月間「エンダウメントファンド(EF)」

国際・交流事業主任
山田公平(宇都宮)



EF ゴールデンブックに名を刻みませんか?

1958 年、将来のワイズ運動に必要な資金を生み出そうと EF が発足し、以後、ワイズダム

発展のための国際協会の特別基金として存在しています。個人またはクラブ単位で記念すべき行事や慶事があった時に献金をします。制度発足以来、約 3 百万スイスフラン(1 フランは 125 円なので 3 億 7 千万円)が国際協会に寄せられています。昨年度 1 年で、世界中のワイズから 42,872 フラン(約 570 万円)が捧げられました。

集められた献金は、EF 評議会の元で運用されています。基金から拠出する場合には国際議会と EF 評議会の合意が必要ですが、数年前から国際協会の本部があるスイスのジュネーブに独自のワイズ事務所スペースの購入を検討しているところであり、EF 基金からの拠出が計画されています。クラブで、あるいは個人で、50 フラン(6250 円)の献金で「フレンド」になり、120 フラン以上献金するとゴールデンブックにクラブ名、個人名が刻まれることとなります。是非、EF への献金をご検討ください。

強調月間「P.W.アレキサンダー遺産プロジェクト」

副書記
座間裕二(宇都宮)



ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトは、2022年の100周年記念式典に向けて、YMIの創設者を称える特別プログラムです。

このプログラムでは、様々なプロジェクトが計画されており、すでに2つのプロジェクトが達成されています。アメリカ、オハイオ州トレドの歴史的なウッドローン墓地にある、これまで無名だったポール・ウィリアム・アレキサンダーの墓に墓石を購入し、設置しました。トレド市は、創設者を称える地元の記念碑の設置に同意し、公共の公園の名称を創業者の名にちなんで変更することを提案しました。YMIは「ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事公園」を提案し、2019年11月初旬に正式に設置された案内文の看板を提供しました。

今後のプロジェクトは、以下の通りです。

- ・ミネソタ州の文書保管庫にある文書を始めとする重要文書のデジタル化とオンライン保存/検索、オンライン博物館の創設、YMIストーリーの世界的な普及
- ・グレートトレドYMCAにあるワイズメン遺産の壁を設置すること
- ・ジュネーブにあるIHQのオフィススペースの購入
- ・創立者の名を冠した新しい国際奉仕プロジェクトの創設

これらのプロジェクトを支援するために、100周年祝賀の間に100万米ドルを集めることを目標としています。プロジェクト開始にあたり、各エリアの目標金額を米ドルで設定しました。アフリカ1万ドル、アジア太平洋10万ドル、カナダ/カリブ海諸国3万ドル、ヨーロッパ20万ドル、インド35万ドル、韓国25万ドル、ラテンアメリ

カ1万ドル、米国5万ドルです。2020年末には25万ドル集めました。どのような状況か、地域の役員にご確認ください。寄付のための包括的な方法と寄付に対する報奨があります。最近の寄付者のリストと詳しい情報は

<https://www.ysmen.org/centenary/pwa-legacy/>で見ることができます。

そして東日本区では支援目標を達成するため、会員1名800円の献金を目標としていますので、是非ともご協力をお願い致します。皆様には目標を忘れず、PWA遺産プロジェクトの立ち上げ時の興奮と情熱を思い出していただき、公約を果たして頂きたいと思います。

皆様の積極的な募金へのご参加をお待ちしております。

東日本区からのお知らせ

12 月度新規入会者

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者
21/12/11	北東部	那須	Materna Weili	河野順子
21/12/14	湘南・沖縄	鎌倉	藤井千枝子	千葉裕子 日下部美幸
21/12/20	北海道部	札幌	山崎修	城井宏邦

JEF 献金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
21/12	あずさ部	富士五湖	原俊彦	¥100000

ミャンマー募金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
21/12/23	富士山部	下田クラブ		¥10000

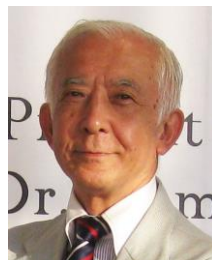
累計¥85000

1月の主な行事

- 1月7日 **Change!2022 推進委員会**
- 1月10日 **後期半年報提出期限 (会長→部長)**
- 1月14日 **常任役員会**
- 1月15日 **後期半年報提出期限 (部長→主任)**
- 1月17日 **CS・Y サ事業委員会**
- 1月21日 **文献・組織検討委員会**
- 1月29日 **国際投票締切**
- 1月31日 **次期部役員・クラブ会長報告 (次期部長→区)**

国際投票

書記
衣笠輝夫



2021/22 年度の国際投票が既に始まっています。期間は2021年12月15日1:00～2022年1月29日1:00迄です。国際本部 (IHQ) より投票の資格を持っているクラブ会長又は承認された代表者に国際投票に関するメールが配信されています。そのメール内容にそって、早めに投票しましょう。投票の資格を持っているクラブが候補者を自由に投票することは、クラブの権利と責任です。

●投票の資格を持っているクラブについて

過去3半期間連続で最低15人のクラブ会員数を下回らず、同様3半期間中に区費、地域会費、国際会費をクラブ員全員が納め活動しているクラブの会長または承認された代表者のメールアドレスが国際本部に登録されているもの。

しかしながら、最低15人の会員数維持が困難になっているクラブが多くなっている現状から最低15人とする必要会員数規定の免除申請 (国際投票適用除外申請) をクラブから東日本区理事に申請し国際本部に承認された場合も投票の資格を得られます。承認される条件は、クラブ員数が5人～14人で、チャーター後少なくとも25年が経過していることです。チャーター後25年が経過しておらず、国際投票適用除外申請の条件に合わず、投票の資格のないクラブは東日本区では59クラブ中16クラブあります。

東日本区では本来各クラブが行うべき国際投票適用除外申請を東日本区事務所が一括して国際本部に申請してくれています。従って投票の資格を持ったクラブ会長または承認された代表者は100%投票を行うことが期待されます。

●候補者について：2021/22 国際選挙の候補者は下記の通りです。

1) 2022/23 年度の次期国際会長選挙：3 人の候補者から 1 人を選挙。

候補者

- ・デイビッド・ルアさん（シンガポール）
- ・ウルリック・ラウリドセンさん（デンマーク）
- ・チャールズ・レッドモンドさん（USA）

2) 2022/24 年度アジア太平洋地域選出国際議員選挙（2023/24 年度アジア太平洋地域会長）：2 人の候補者から 1 人を選挙。

候補者

- ・利根川恵子さん（日本）
- ・ヘラス・ムディアンセラゲ・グナナンシラカ・ダヤラスナさん（スリランカ）

●投票について

国際本部より投票の資格のあるクラブ会長又は承認された代表者に配信されたメールに従い投票します。ワイズメンズクラブ東日本区ホームページの「国際投票」にも「投票規定」・「投票手順」・「国際選挙 応募書類、推薦文」が記載されており参考になります。

●翻訳について

近年、東西日本区合同翻訳・通訳グループの方々の奉仕によって、従来難解とされていた国際投票も日本語訳が加わり、より理解しやすくなりました。アジア太平洋地域も日本人の会長はじめ役員の方々が多くなり、より身近に感じられるようになっていきます。この時期に国際投票を確実に、クラブの意志を明確にいたしましょう。

YMCA 報告

日本 YMCA 同盟協力主事/担当主事

光永尚生(三島)



世界の YMCA のトピックス

■APAY アドバンススタディープログラムが修了

アジアの 8 カ国、11YMCA から 14 名の参加者が集まりオン

ラインで行われた APAY アドバンススタディープログラム。修了にあたり参加者による共同コミュニケーションを表明。今年のテーマは"Leadership and Mission in the context of the Covid-19 pandemic"。日本からは茨城 YMCA 青山夏樹さん、山梨 YMCA 福田奈里子さんの 2 名が参加。

■COP26 を振り返る

2021 年 11 月 1 日から 12 日までグラスゴーで開催された COP26 気候会議。16 カ国 20 名以上の YMCA アンバサダーがオブザーバーとして参加、世界中で気候変動対策に取り組むユースのストーリーを紹介した。

■香港の少数民族コミュニティを支援—オンラインでの学生との交流

学習の機会を損失した低所得のエスニック・マイノリティの子どもたち。香港 YMCA は、オンライン授業に苦戦している学生への個人指導や、インターネットにアクセスできない学生のための対面式チューターセッションを無料で実施。

日本の YMCA のトピックス

■東京 YMCA オンラインで第 16 回子育て講演会を開催

NHK「すくすく子育て」の汐見稔幸氏を講師に「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」と題して講演会が開催。ワイズコロナ時代の変容する社会の中、家庭においても子どもとどう向き合うか。1 月 29 日、オンライン、視聴無料。要申込み。

■広島 YMCA クリスマス音楽礼拝をライブ配信

プロのピアニストと二胡奏者による1年の締めくくりに相応しい音楽礼拝を開催。司式は日本福音ルーテル広島教会の立野泰博牧師。12月17日13:00~14:15

■横浜 YMCA 発達障がいのある子どもたちのための「からだの使い方&スポーツ・体育教室」
スポーツ庁の「Sport in Life プロジェクト」事業の一環として、運動の苦手意識をスモールステップで関心をもてるようにと11月28日から全4回開催。講師は笹田哲氏（神奈川県立保健福祉大学）。

■盛岡 YMCA プログラミング体験会を開催
盛岡 YMCA は11月13,14日に岩手県宮古市でプログラミング体験会を開催。盛岡 YMCA で活動するリーダーのうち、震災当時それぞれ小学3年生、4年生だった宮古市出身の2人が中心となって企画。岩手日報にも『ITを通じ古里に恩返し』と題して掲載。

■茨城 YMCA 東京基督教大学と包括的連携協定締結
インターンシップの実施など、キャリア支援での関係に加え、より幅広く人的な交流を行い、宣教・福祉・教育などの面で協力していく。

■10万人の子どもたちにとびきりのクリスマスを
全国23YMCAにおいてAmazon「みんなでサンタクロース」プログラムに参画。Amazon「ほしいものリスト」を活用した期間限定のチャリティキャンペーン。

日本 YMCA 同盟からのお知らせ

■12月研究所オンライン研修「YMCA 伴走サポートシステム」

青山鉄兵氏（文教大学准教授・日本 YMCA 同盟常議員）を講師に迎え、青少年教育の立場から見た伴走サポートの意義について、また各 YMCA からの導入事例をとおして YMCA 伴走サポートの理解を深める。12月17日10:00-11:30。

■日本 YMCA スタッフ研修ステップⅢ
YMCA ブランドコンセプトに基づきポジティブネットの推進のトップリーダーシップを担う総合的管

理能力を身につけるステップⅢ研修。YMCA 東山荘において集合型で1月11日~15日に開催。

■2022年ピンクシャツデーは2月23日
発達支援事業では、「SNS やネットといじめ」をテーマとした講演会を、アフタースクール事業では「いじめを考える子どもオンラインかいぎ」をそれぞれ企画、開催。

■Y's×SDGs Youth Action2022 特設ホームページ

YMCA とワイズが、SDGs の定める地域課題解決に向けたユースの活動に助成。ユースグループが実施する活動に対してその地域のスタッフが伴走し、共に地域の課題解決に向けて取り組む。応募期間：2021年11月20日~2022年2月10日。

■YMCA 東山荘 年末年始家族パーティー
今年で56回目を迎える東山荘最大のイベント。東山荘でしか体験できないプログラムの数々や年末年始ならではのイベントやお食事、全員で「家族」のような雰囲気的年末年始を。毎年開催中。

Food, Our Heritage and Culture

Food Story 募集のおしらせ

アジア太平洋地域会長 大野 勉

東日本区理事 大久保知宏

西日本区理事 新山 兼司

ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域では、国際協会設立 100 周年の記念事業として、アジア太平洋地域各国の食文化の情報を集めた Cook Book の編纂を目指しています。東西両区では、海外から入ってきて日本の家庭で変化を遂げた食文化、家庭料理というカテゴリーに加えて、次の二つの情報を募集します。

【1】100 周年を祝う気持ちに通じる、日本のお祝い事での食事の情報、“Food Story” を収集します。新年・ひな祭り・端午の節句・七夕・観月という五つの行事の時に家庭での料理の情報を「写真」、その「料理の名前・意味」、その「料理の思い出」、その「主な材料」をお知らせください。写真についてはご自身の撮影したものが望ましいですが、なければ同様の写真を事務局で探しますので、「料理の名前・意味」、「料理の思い出」、「主な材料」のみ、お寄せください。

送信例



- ・伊達巻
- ・鮮やかな黄色をしていて、食べ物の中でも人目をひく色合いであることから「派手な卵焼き」として伊達巻と名付けられたと言われています。
- ・お節料理として初めて作ったのが伊達巻でした。アレンジを加えて三層構造のものも作っています。
- ・卵、はんぺん、醤油、砂糖

【2】現在、社会課題となっている「フードロス」「食の安全」の視点で家庭料理を考えてみてください。こんな工夫をすることで、「フードロス」「食の安全」に取り組んでいますという情報をお寄せください。

送信例

「お節料理の時に大量に鰹節、出汁昆布を使用しますが、出汁を取った後の鰹節はフライパンで胡麻と一緒に乾煎りして、フードプロセッサーに掛けてふりかけにします。出汁昆布は、細く切ってから醤油、砂糖、唐辛子と煮詰めて、辛子昆布にします。」

「お寄せいただいた” Food Story” は、その一部をアジア太平洋地域版に、全部を国内版の Cook Book に掲載させていただきます。

送信先 東日本区：t.ookubo@hh.fujii.co.jp

西日本区：kawai-kay@mbr.nifty.com

締切り：2022 年 1 月 25 日

[情報提供をお待ちいたしております。](#)

氏名 グループ可	募集区分：家庭料理	
	<input type="checkbox"/> 海外由来で日本育ちの料理	
所属	区	<input type="checkbox"/> 新年 <input type="checkbox"/> 雛祭り
	部	<input type="checkbox"/> 端午の節句
	クラブ	<input type="checkbox"/> 七夕 <input type="checkbox"/> お月見
連絡先	Tel	<input type="checkbox"/> フードロス
	E-mail	<input type="checkbox"/> 食の安全
<input type="checkbox"/> その他		
料理名		
意味	名前の由来など	
思い出	懐かしいエピソード	
材料		
作り方		
写真	1.有（添付ファイル、郵送等）、 2.無	